



「変わる科研費」への 採択を目指して

2017年9月1日 (金)

教職員
大学院生
対象

時間
会場

文教 **10:20~12:00** グローバル教育・学生支援棟G-38
(文教スカイホールと同じ建物)

坂本 **16:00~17:40** 良順会館 ボードインホール

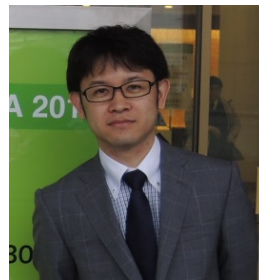
プログラム (内容は両会場とも同じです)

- 主催者挨拶 研究担当理事 研究推進戦略本部長 福永 博俊
- 講演1 「科研費申請書のグラフィックデザイン」
京都大学 次世代研究創成ユニット URA 小野 英理
- 講演2 「若手→基盤、調書の考え方・書き方は違うのか? ~私の調書の変遷~」
長崎大学 医歯薬学総合研究科(薬学系) 准教授 大山 要



小野 URA

申請書に関わるデザインはルールに則れば難しいことはありません。



大山 准教授

自分自身が試行錯誤しながら、たどり着いた考え方と書き方をお話させていただきます。

平成30年度の科研費から、「審査システム」と「研究種目・枠組み」が大きく変わります。細目表が廃止され、従来の細目より広い審査区分が導入されます。応募者には、この広い審査区分に対応した分かりやすい研究企画調書の作成が求められます。また、若手研究(A)が基盤研究(B)に統合され、若手研究者の研究を優先的に採択される枠組みが導入されます。若手研究(B)が「若手研究」に変わり、応募要件も見直されます。

本セミナーでは、京都大学の小野URAを講師としてお迎えし、科研費調書の作成に際し、研究内容を明快に伝える図表の考え方、作成法及び活用法をご教授いただきます。また、若手研究から基盤研究(B)に挑戦し見事に採択された本学の大山准教授に、その挑戦の心構え、調書の考え方・書き方についてご講演いただきます。

「変わる科研費」をいち早く理解し、チャンスととらえて、採択を目指しましょう。

お問い合わせ：研究推進戦略本部

TEL: 095-819-2208

E-mail: senryaku@ml.nagasaki-u.ac.jp

事前申込

<http://qq2q.biz/EluP>

